

裁判員裁判の実施状況

平成21年5月21日のスタートから、3年が経った『裁判員制度』。

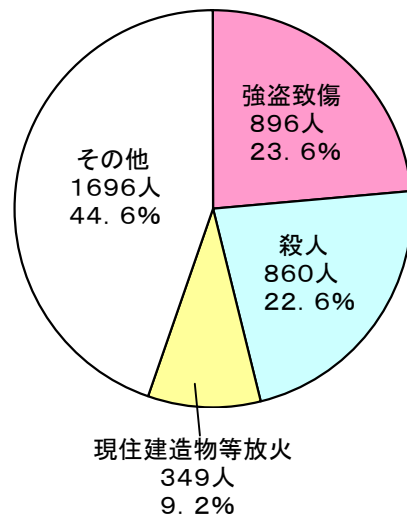
平成24年5月までに3,801人の被告人に判決が言い渡され、21,944人の方が裁判員を経験されました。

今回は、これまでの裁判員裁判の実施状況や裁判員経験者の声を、統計データや裁判員等経験者に対するアンケート結果などからお知らせいたします。

どんな事件で裁判員裁判が行われたの？



平成24年5月までに、強盗致傷事件(896人, 23.6%), 殺人事件(860人, 22.6%), 現住建造物等放火事件(349人, 9.2%)などの事件で裁判員裁判が行われました。



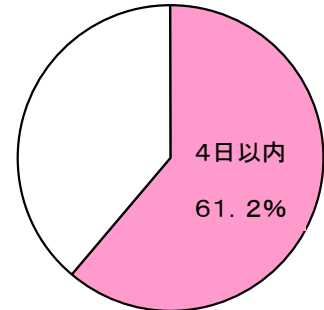
どれくらい的人数が選ばれたの？

平成24年5月までに選任された裁判員の数は21,944人, 補充裁判員の数は7,630人でした。



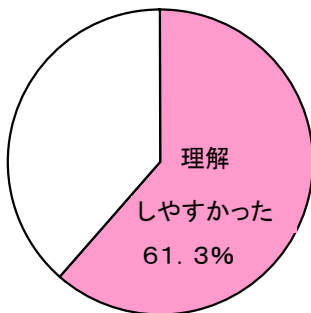
何日くらい参加するの？

平成24年5月までに判決が言い渡された裁判員裁判の対象となった事件のうち、61.2%の事件が4日以内に終了しました。



審理は難しくないの？

審理の内容については、61.3%の裁判員が「理解しやすかった」と回答しています。

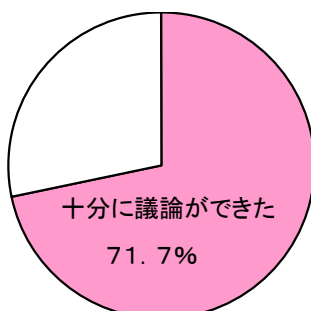


【裁判員経験者の声】
ドラマでよく見る法廷の場面では、専門用語が出てきてわからないところもあるのですが、実際の裁判では、とてもわかりやすいと思いました。



評議で議論できるかなあ？

評議については、71.7%の裁判員が「十分に議論ができた」と回答しています。



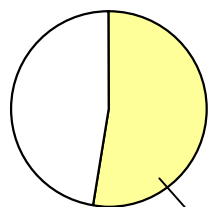
【裁判員経験者の声】
自分の考えを評議の中で述べることができました。裁判官だけでなく、一般人の考えを裁判員として評議に加えることは必要なことだと感じました。

参加した感想は？



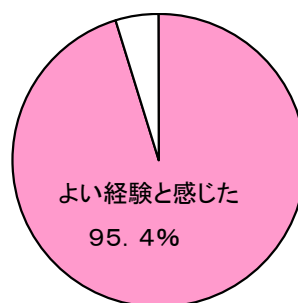
裁判員に選ばれる前は、「あまりやりたくなかった」又は「やりたくなかった」と回答された方が合計52.5%に上っていましたが、裁判に参加した後では、合計95.4%の方が「非常によい経験と感じた」又は「よい経験と感じた」と回答しており、裁判員としての職務に従事して、充実感をもっていただけたことがうかがえます。

裁判員に選ばれる前



やりたくない
52.5%

裁判員を経験して…



よい経験と感じた
95.4%



【裁判員経験者からのメッセージ】

裁判員制度が導入されたことは、これまでのプロフェッショナルである裁判官、検察官、弁護士だけでなく、一般の社会人の感覚を裁判の中に導入しようということなので、肩肘を張らず、ふつうに生きている一人の人間として裁判員になって裁判に参加してください。

裁判員制度に関する広報媒体の紹介

～裁判員制度をよりくわしくお知りになりたい方へ～

- | | |
|-------------------|---|
| ● 裁判員制度ウェブサイト | http://www.saibanin.courts.go.jp/ |
| ● 裁判員選任手続パンフレット | 裁判員制度(特に、裁判員選任手続)の概略について簡単に説明しています(全6ページ程度)。 |
| ● よくわかる! 裁判員制度Q&A | Q&A形式で、漫画を使いながら、裁判員制度についてわかりやすく説明しています(全63ページ程度)。 |
| ● 裁判員制度ナビゲーション | 裁判員制度について、図表等の資料を使いながら、詳しく説明しています(全86ページ程度) |

※ これらのパンフレットは、全国の地方裁判所で無料配布していますので、ご覧になりたい方は最寄りの地方裁判所総務課にお問い合わせください。